



## 大阪大学名誉教授難波精一郎先生が 日本学士院会員に選出されました

桑野園子・大阪大学

このたび大阪大学名誉教授・日本騒音制御工学会名誉会員である難波精一郎先生が日本学士院会員に選出されたとの朗報に接し、とても嬉しく、難波先生には心からお慶びを申し上げます。

日本学士院は1879年1月東京学士会院として創設され、初代の会長は福沢諭吉氏が務められています。その後、種々の組織改革、名称の変更を経て、1947年に現在の日本学士院として確立されました。日本学士院の目的は学術上功績顕著な科学者を優遇するための機関として、学術の発達に寄与するため必要な事業を行うこととされ、恩賜賞、学士院賞などの贈呈が行われています。現在の会員数は139名で、ノーベル賞を授与された方々をはじめ、著名な研究者の方々が会員になっています。

私の知る限り、音響学や騒音制御工学関係では初めての会員だと思いますので、日本騒音制御工学会の会員にとっても、難波先生が日本学士院の会員になられましたことは誇りでもあり、意義あることと存じます。数多くの研究業績やそれに基づく社会貢献、そしてそれらに対する国内外での評価が認められて我国における代表的な音響心理学者として学士院会員に選出されたことと思われまます。

難波先生の業績については日本騒音制御工学会の会員の皆様はよくご存知のことと存じます。難波先生の研究活動はほぼ半世紀におよびますが、新しい装置や手法を開発して変動音の知覚の実験に着手され、変動音の大きさの心理物理的モデルの提案とその応用、機械音の音色評価、音の印象に関する文化比較などがあげられるかと思われまます。約200編もの論文や著書を発表されて学会に貢献されると共に、これらの研究を通じて、1998年の騒音に係る環境基準の改訂などに貢献され、2003年環境大臣から環境保全功労者として表彰を受けられています。また、日本騒音制御工学会の功績賞も1996年と2001年の2度にわたって受けられています。さらに、オルデンブルグ大学からの名誉哲学博士の授与、アメリカ音響学会特別功労賞の授与、インターノイズ、国際音響学会議など多くの国際会議の基調講演をされるなど国際的にも高く評価されています。

今後も健康に留意され、一層ご活躍されることを期待しています。